



第88期 第2四半期報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
財務諸表（連結）	2・3
連結子会社	3
連結業績の推移	3
財務諸表（単体）	4
単体業績の推移	4
株式の状況	5
配当の基本方針と実績	5
ビジネスインフォメーション（クローズアップビジネス）	
エレクトロニクス事業本部海外実装システム部	6
TOPICS（WRO2010に協賛いたしました）	7
PRインフォメーション（展示会情報）	8
IRインフォメーション（ホームページIR情報）	9

※本報告書に記載の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社の概要

会社の概況（平成22年9月30日現在）

商号	第一実業株式会社
本社	東京都千代田区二番町11番19号
設立	昭和23年8月12日
資本金	51.05億円
支店	大阪、名古屋、札幌、東北（仙台）、広島、福岡
営業所	静岡
海外事業所	ソウル支店、カタール事務所
国内子会社	7社
海外子会社	17社

当社の従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
名	名	才	年
425	△3	37.7	12.2

当社グループの従業員数

従業員数	前期末比増減
名	名
984	+10

役員（平成22年9月30日現在）

代表取締役社長	矢野邦宏
代表取締役専務	下田正伸
代表取締役常務	中川義晴
代表取締役常務	梅村達男
代表取締役常務	小西幸雄
代表取締役常務	山片康司
代表取締役	杉浦道明
代表取締役	小椋隆典
代表取締役	山中義英
代表取締役	高田徹
代表取締役	津田徹
代表取締役	木本創
代表取締役	吉田寛
代表取締役	高井潤三
常勤監査役	武居功
監査役	新本尚文
監査役	照井毅
監査役	金本澄男
代表取締役社長兼名古屋支店長	管理本部長
代表取締役常務	名古屋事業本部長 兼名古屋支店長
代表取締役常務	国際事業統括本部長
代表取締役常務	エレクトロニクス事業本部長 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE.LTD.取締役社長
代表取締役	産業機械・航空事業本部長
代表取締役	上海一実貿易有限公司董事長 第一実業（香港）有限公司董事長
代表取締役	大阪事業本部長 兼大阪支店長
代表取締役	プラント・エネルギー事業本部長
代表取締役	管理本部副本部長
代表取締役	DAIICHI JITSUGYO (AMERICA), INC.取締役社長
代表取締役	大阪事業本部副本部長
代表取締役	管理本部副本部長

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成22年9月30日をもちまして第88期第2四半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の決算が終了いたしましたので、ここにその概況等をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、新興国の景気拡大や各国政府の経済対策などを背景に緩やかながら回復傾向が見られ、企業の設備過剰感の緩和や企業収益の改善により設備投資も緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、雇用情勢の低迷やデフレが続いていることに加え、急激な円高の進行や海外経済の減速等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、中国・韓国を中心としたアジア向けのIT・デジタル関連機器および車載関連機器の製造装置等の売上が大幅に増加したほか、本格的に取り扱いを始めたリチウムイオン電池製造関連装置や太陽光パネル製造設備等の需要が好調でありました。

国内景気は依然として不透明感が拭えない状況ではありますが、海外においては新興国の需要拡大に伴う投資の連鎖も見られ、我が国の企業はその動きに歩調を合わせ、海外での投資を増やしつつあります。

当社グループといたしましては、新中期経営計画「ACT2012」のビジョンと基本方針に沿って、更なるグローバル体制の充実を図るとともに各地域の動向を的確に把握し、業容拡大を図る好機と認識しつつ業績向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月

取締役社長

矢野邦宏



財務諸表（連結）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第87期	第87期第2四半期	第88期第2四半期
	平成22年3月31日現在	平成21年9月30日現在	平成22年9月30日現在
資産の部			
流動資産	47,745	48,628	54,415
固定資産	7,351	7,284	7,093
有形固定資産	1,756	1,755	1,735
無形固定資産	95	161	97
投資その他の資産	5,499	5,367	5,260
資産合計	55,096	55,912	61,509
負債の部			
流動負債	32,155	33,725	38,304
固定負債	859	857	849
負債合計	33,014	34,582	39,153
純資産の部			
株主資本	21,759	21,063	22,515
資本金	5,105	5,105	5,105
資本剰余金	3,789	3,790	3,789
利益剰余金	15,087	14,393	15,826
自己株式	△2,222	△2,225	△2,205
評価・換算差額等	△44	△38	△573
その他有価証券評価差額金	276	231	△121
繰延ヘッジ損益	△3	0	3
為替換算調整勘定	△317	△270	△455
新株予約権	34	5	64
少数株主持分	332	299	349
純資産合計	22,082	21,329	22,355
負債・純資産合計	55,096	55,912	61,509

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第87期	第87期第2四半期	第88期第2四半期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
売上高	85,058	35,182	50,198
売上原価	73,953	30,380	43,325
売上総利益	11,104	4,802	6,873
販売費及び一般管理費	10,162	5,032	5,148
営業利益	941	△230	1,725
営業外収益	517	127	224
営業外費用	217	110	125
経常利益	1,241	△212	1,824
特別利益	48	3	13
特別損失	50	14	62
税金等調整前当期純利益	1,239	△222	1,775
法人税、住民税及び事業税	784	20	782
法人税等調整額	72	182	△37
少数株主損益調整前当期純利益	—	—	1,030
少数株主利益	18	7	29
当期純利益	363	△434	1,000

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第87期	第87期第2四半期	第88期第2四半期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,848	△2,594	△6,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,993	2,504	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372	△1,472	5,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	42	△79
現金及び現金同等物の増減額	△5,235	△1,520	△1,014
現金及び現金同等物の期首残高	12,282	12,282	7,118
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	72	72	—
現金及び現金同等物の期末残高	7,118	10,833	6,103

(注) 当連結財務諸表は、3頁に記載の13社を連結して作成しております。他の子会社および関連会社は、いずれも小規模会社であり、連結財務諸表に重要な影響を及ぼしておりませんので、連結の範囲に含めておりません。

連結貸借対照表

売上の増加に伴い売上債権やたな卸資産が増加し、総資産は前期比64億円増加の615億円となりました。また、借入金の増加により、負債は61億円増加しました。純資産は、四半期純利益10億円のほか、配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少により、差引き3億円増加の224億円となりました。

連結損益計算書

売上高は前年同期比150億円増加の502億円(42.7%増)となりました。粗利の増加に伴い、営業利益は17億円、経常利益は18億円となり、前年同期の損失計上から大幅な改善となりました。また、四半期純利益も前年同期の4億円の赤字から14億円増加し、10億円の黒字となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

売上の増加に伴う売上債権やたな卸資産の増加により、営業キャッシュ・フローは62億円の減少となりました。短期借入金の借り入れなどにより財務活動によるキャッシュ・フローが増加となったものの、現金及び現金同等物は、前期比10億円減少の61億円となりました。

連結株主資本等変動計算書 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

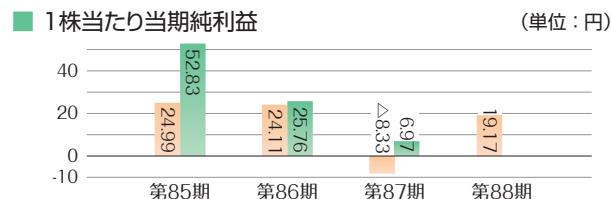
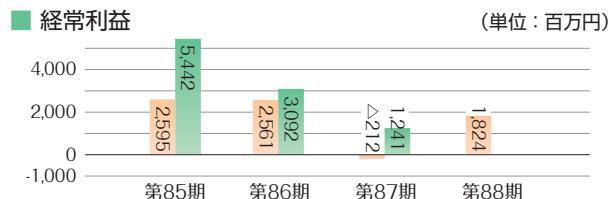
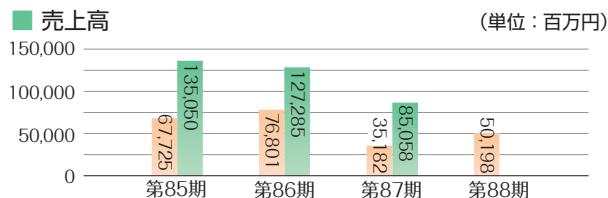
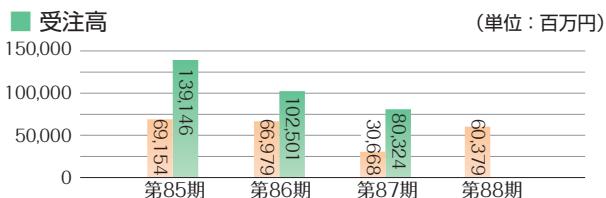
	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定			
平成22年3月31日残高	5,105	3,789	15,087	△2,222	21,759	276	△3	△317	34	332	22,082
四半期連結累計期間の変動額											
剰余金の配当			△260		△260						△260
四半期純利益			1,000		1,000						1,000
自己株式の取得				△1	△1						△1
自己株式の処分		△0		17	17						17
株主資本以外の項目の 四半期連結累計期間の 変動額(純額)					—	△397	6	△138	29	16	△482
四半期連結累計期間の変動額合計	—	△0	739	16	755	△397	6	△138	29	16	273
平成22年9月30日残高	5,105	3,789	15,826	△2,205	22,515	△121	3	△455	64	349	22,355

連結子会社

会社名	資本金 百万円	議決権比率 %	主要な事業内容
株式会社第一メカテック	160	100	機械等の技術開発・サービス
株式会社DJTECH	160	100	半導体検査装置等の開発・製造・販売
第一実業ビスウィル株式会社	100	100	外観検査装置の開発・製造・販売
DAIICHI JITSUGYO (AMERICA), INC.	580 (US \$ 4,000千)	100	産業用各種機械器具の販売
D J K E U R O P E G M B H	4 (EUR25千)	100	産業用各種機械器具の販売
上海一実貿易有限公司	400 (US \$ 4,000千)	100	産業用各種機械器具の販売
第一実業(香港)有限公司	194	100	産業用各種機械器具の販売
第一実業(広州)貿易有限公司	255 (HK \$ 19,485千)	100	産業用各種機械器具の販売
DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD.	317	100	産業用各種機械器具の販売
DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD.	34 (BHT10,000千)	49	産業用各種機械器具の販売
DAHCHI JITSUGYO (MALAYSIA) SDN. BHD.	59 (RM1,500千)	100	産業用各種機械器具の販売
DAIICHI JITSUGYO (PHILIPPINES), INC.	32 (PHP9,675千)	100	産業用各種機械器具の販売
P T . D J K I N D O N E S I A	28 (US \$ 300千)	100	産業用各種機械器具の販売

連結業績の推移

■：第2四半期 ■：通期



財務諸表（単体）

貸借対照表

（単位：百万円）

科目	第87期	第87期第2四半期	第88期第2四半期
	平成22年3月31日現在	平成21年9月30日現在	平成22年9月30日現在
資産の部			
流動資産	40,873	42,332	46,108
固定資産	10,049	9,941	9,834
有形固定資産	1,456	1,483	1,393
無形固定資産	22	23	22
投資その他の資産	8,570	8,434	8,418
資産合計	50,922	52,273	55,943
負債の部			
流動負債	30,414	32,546	35,365
固定負債	636	667	580
負債合計	31,050	33,213	35,945
純資産の部			
株主資本	19,564	18,822	20,050
資本金	5,105	5,105	5,105
資本剰余金	3,789	3,790	3,789
利益剰余金	12,892	12,152	13,361
自己株式	△2,222	△2,225	△2,205
評価・換算差額等	272	233	△117
その他有価証券評価差額金	276	233	△120
繰延ヘッジ損益	△3	0	3
新株予約権	34	5	64
純資産合計	19,872	19,059	19,997
負債・純資産合計	50,922	52,273	55,943

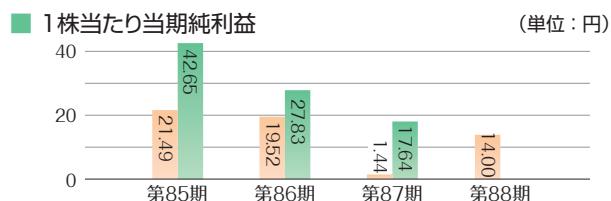
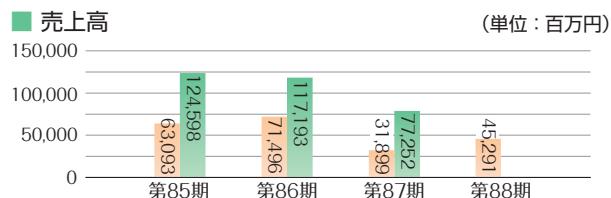
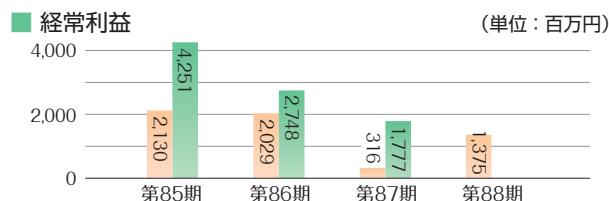
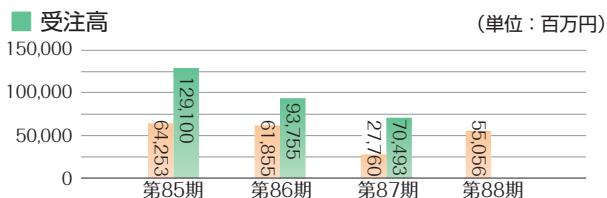
損益計算書

（単位：百万円）

科目	第87期	第87期第2四半期	第88期第2四半期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
売上高	77,252	31,899	45,291
売上原価	69,618	28,541	40,873
売上総利益	7,634	3,357	4,418
販売費及び一般管理費	6,283	3,154	3,179
営業利益	1,350	202	1,239
営業外収益	568	167	247
営業外費用	140	54	111
経常利益	1,777	316	1,375
特別利益	40	0	11
特別損失	31	5	61
税引前当期純利益	1,786	310	1,325
法人税、住民税及び事業税	721	21	624
法人税等調整額	146	215	△29
当期純利益	918	74	730

単体業績の推移

■：第2四半期 ■：通期



株式の状況 (平成22年9月30日現在)

株式の状況

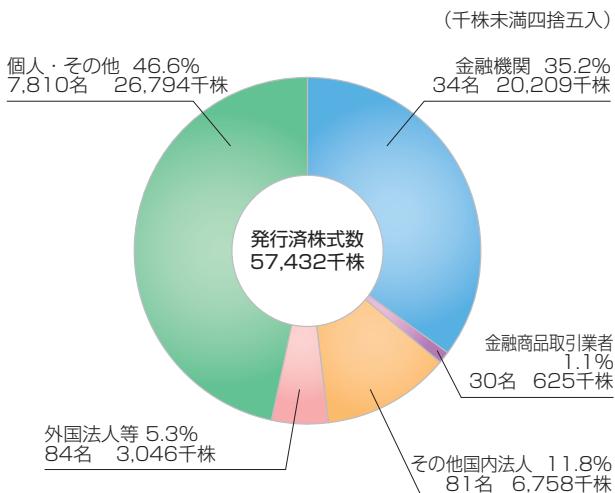
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	57,432,000株
1単元の株式数	1,000株
株主数	8,039名 (前期末比41名増)

大株主

株主名	持株数 千株	出資比率 %
株式会社みずほコーポレート銀行	2,557	4.90
株式会社三井住友銀行	2,554	4.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,554	4.89
日本興亜損害保険株式会社	2,535	4.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,723	3.30
株式会社りそな銀行	1,691	3.24

※出資比率の算定に際し、発行株式総数から自己株式5,205千株を控除しております。

発行済株式の所有者別状況



(注)「個人・その他」には自己株式5,205千株(9.1%)を含んでおります。

配当の基本方針と実績

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、業績に応じた適正な配当を実施することを基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、中長期的展望に立って、成長が期待できる新事業・新商権の開発および海外拠点の拡充のために効率的に活用していく所存です。

当期の中間配当につきましては、通期の業績予想および配当性向などを考慮し、1株につき5円とさせていただきます。

年間配当額の推移



クロスアップビジネス

エレクトロニクス事業本部
海外実装システム部
部長 樋渡 正生



パナソニック製
チップマウンター



主要製品

電子部品実装システム
半田印刷検査システム

電子部品実装システム 売上高100億円突破！

当部門で取り扱う主要製品であるパナソニック製電子部品実装システム（チップマウンター）は、世界トップシェアを誇っております。

2010年上期は、薄型テレビやパソコン、携帯電話などの旺盛な製品需要を背景に、実装業界の設備投資が活発化し、売上高で100億円を超えました。

得意先の投資拡大の勢いに追従するべく、更なる拡販を目指してまいります。

ACT2012 部門活動方針

- ◆ 年間260億円（グローバルシェア6.5%）の販売を目指す。
- ◆ 新商材の開拓および海外商圏の拡大を積極的に推進する。

詳しく知りたいQ&A

Q. 海外の主戦場は？

引き続き需要が大きい中国およびタイを中心とした南アジア各国です。得意先の資本別では、韓国系・台湾系のグローバル企業が生産工場を東アジアからロシア、東欧、メキシコ、ブラジルへと拡大しており、設備の輸出先もBRICsを中心に拡がりそうです。当社グローバル体制の下、一体となって拡販に取り組んでまいります。

Q. 今後、成長が期待されるエレクトロニクス製品は？

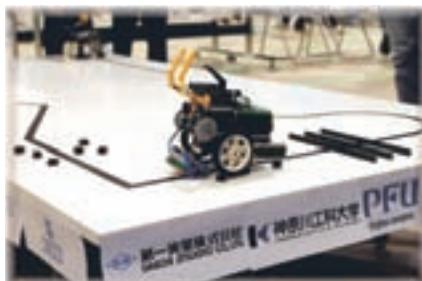
スマートフォンが世界的に大きく伸長する見込みです。一時期落ち込んでいた薄型テレビやパソコンの需要も回復してきており、生産量も増加する見通しです。

技術にチャレンジする子供たちを応援します！

ロボットコンテストWRO2010に協賛いたしました。

当社は、モノづくりの技術に挑戦する子供たちを応援するため、WRO2010に協賛いたしました。WRO (World Robot Olympiad) は、世界の子供たちが製作する自律型ロボットの技術を競うコンテストとして2004年より始まり、国内予選から国際大会まで開催され、世界32カ国が参加しています。

わたしたち第一実業は、未来をつくる子供たちに科学技術を身近に体験できる場を提供し、機械総合商社としての社会貢献活動につなげてまいります。



競技は、小・中・高校生それぞれにコースが異なり、与えられた課題をクリアしながら、ゴールするまでの時間を競い合います。それには創造性とあらゆる問題解決力が必要とされるため、科学技術の基礎を学ぶ場ともなります。

ロボットの組み立てとプログラミングに挑戦する子供たちが、世界に通用する日本のモノづくりを支えてくれることを期待し、わたしたち第一実業は、今後もWROを応援してまいります。

WROサイト <http://www.wroj.org/>

【第12回 JISSO PROTEC 2010】へ出展いたしました。

開催日 平成22年6月2日～4日

開催場所 東京ビッグサイト

当社が販売代理権を持つトプコン社製3Dバンブ高さ検査装置を中心に、同社と共同して【実装プロセステクノロジー展】へ出展いたしました。

主力製品は、半導体基板の微細電極の形状を高速・高精度に検査できる装置で、その処理速度は市場最高といわれています。

他にも、基板層一面に埋め込まれている銅を、部分的に使用することによって省資源化を実現した製品も紹介し、国内外のお客様より多数の引き合いをいただきました。



【第23回 インターフェックス・ジャパン】へ出展いたしました。

開催日 平成22年6月30日～7月2日

開催場所 東京ビッグサイト

当社子会社である第一実業ビスウィル(株)の主力製品の錠剤外観検査装置において、三次元測定(3D)により検査性能が更に向上した機種や、不良検出精度を強化した機種、近赤外線により異種錠剤選別・薬価量検査を実現させた機種など、当社が誇る最新技術装置とその優れた製品機能について展示いたしました。

ご来場のお客様よりこれらの製品技術を高くご評価いただき、多数の引き合いがございました。



IR情報ページをリニューアルいたしました。

このたび、当社ホームページのIR情報ページを、白を基調とした明るいイメージに一新いたしました。使いやすいメニュー配置や最新資料のダウンロード、投資家の皆様への情報を充実させ、お探しの内容をすぐにご覧いただけます。

当社を更にご理解いただくためにも、リニューアルしたIR情報ページを是非ご覧ください。

The screenshot displays the DJK IR information page with several callouts and arrows highlighting new features:

- A red circle highlights the 'IR情報' (IR Information) link in the top navigation bar.
- A red box highlights the 'トップメッセージ' (Top Message) section, which now includes a featured image and text.
- A red box highlights the '各種最新資料ダウンロード' (Download Various Latest Materials) section, listing items like '決算報告書' (Financial Statements), '株主総会報告書' (Shareholder Meeting Report), and 'IR資料' (IR Materials).
- Red arrows point from the callouts to the corresponding sections on the page.

投資家の皆様への情報をご覧いただきやすくなりました。

各種最新資料をすぐに関覧・ダウンロードができます。



最新情報は、当社ホームページに掲載しております。

第一実業

検索

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日 3月31日（期末配当）9月30日（中間配当）
定時株主総会 毎年6月開催
公告方法 電子公告（<http://www.djk.co.jp/>）
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する。

証券コード 8059
株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階）
〒168-8522
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
☎0120-49-7009

郵便物送付先（連絡先）
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- ・未支払配当金のお支払について
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受け取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご利用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引先の証券会社等にご確認ください。

 **第一実業株式会社**

〒102-0084 東京都千代田区二番町11番19号
ホームページ：<http://www.djk.co.jp/>

配当金の受取について

<登録配当金受領口座方式>
**複数銘柄の配当金が
単一銀行口座で受領できます。**

複数の証券会社に預けている銘柄の配当金であっても、ご指定の金融機関口座にすべての配当金が振り込まれます。

<株式数比例配分方式>
**口座を開設されている
証券会社ごとに受領できます。**

お客様が口座を開設されている証券会社ごとにその残高に応じて配当金をお客様の証券口座に振り込まれる方法です。

証券会社に口座開設をし、配当金の受取方法をご指示ください。

すでに証券会社に口座を開設されている株主様

各証券会社に
お問い合わせください。

まだ証券会社に口座を開設されていない株主様

第一実業株式会社 株主名簿管理人・特別口座管理機関
東京証券代行株式会社
お問い合わせください。
<フリーダイヤル> ☎0120-49-7009

株券電子化に伴い
特別口座に移行された
株主の皆様へ

特別口座では、株式の売買ができません。

さまざまな手続きを円滑に行うために、
証券会社の口座開設をお勧めします。